

国道交安第 39 号
平成 26 年 8 月 8 日

北海道開発局長
沖縄総合事務局長
各地方整備局長 殿

国土交通省 道路局長

ラウンドアバウトの導入について

平面交差の計画及び設計に当たっては、道路及び交通の性格、機能、地域特性、沿道状況、歩行者の交通量等を総合的に判断して行われているが、近年、地方部の道路において円形の平面交差部の一種であるラウンドアバウトのニーズが高まりつつある。

ラウンドアバウトは、交通量等が一定の条件下において安全かつ円滑な道路交通を確保することができる。国土交通省では、平成 25 年度より有識者等から構成される「ラウンドアバウト検討委員会」を開催し、社会実験の結果、諸外国の導入事例等を分析し、導入に当たっての技術的な課題等を検討してきたところである。

今般、これまでの議論を踏まえ、望ましいラウンドアバウトの構造について別途通知することとした。については、ラウンドアバウトの導入に当たっては、都道府県公安委員会との緊密な連携のもと、期待される効果が十分に発揮できるよう適切に対応されたい。

なお、本通知の内容については、警察庁交通局と調整済であることを申し添える。

国道交安第 39 号
平成 26 年 8 月 8 日

独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構理事長
東日本高速道路株式会社 代表取締役社長
中日本高速道路株式会社 代表取締役社長
西日本高速道路株式会社 代表取締役社長
首都高速道路株式会社 代表取締役社長
阪神高速道路株式会社 代表取締役社長
本州四国連絡高速道路株式会社 代表取締役社長 殿

国土交通省 道路局長

ラウンドアバウトの導入について

平面交差の計画及び設計に当たっては、道路及び交通の性格、機能、地域特性、沿道状況、歩行者の交通量等を総合的に判断して行われていますが、近年、地方部の道路において円形の平面交差部の一種であるラウンドアバウトのニーズが高まりつつあります。

ラウンドアバウトは、交通量等が一定の条件下において安全かつ円滑な道路交通を確保することができます。国土交通省では、平成 25 年度より有識者等から構成される「ラウンドアバウト検討委員会」を開催し、社会実験の結果、諸外国の導入事例等を分析し、導入に当たっての技術的な課題等を検討してきたところです。

今般、これまでの議論を踏まえ、望ましいラウンドアバウトの構造について別途通知することとしました。については、ラウンドアバウトの導入に当たっては、都道府県公安委員会との緊密な連携のもと、期待される効果が十分に発揮できるよう適切に実施して頂きますようお願いいたします。

なお、本通知の内容については、警察庁交通局と調整済であることを申し添えます。